

平成30年度第1回島根県公立大学法人評価委員会 議事要旨

1. 日時

平成30年6月4日（月）13:00～14:30

2. 場所

島根県立大学出雲キャンパス

3. 出席者

(委員)

服部委員長、渋川委員、服部京子委員、三島委員、宮脇委員

(公立大学法人島根県立大学)

清原理事長・学長、松尾副理事長、山下出雲 C 副学長、落部局長、森本出雲 C 事務室長、福間企画調整室長

(事務局)

犬丸総務部長、鎌谷総務課長、京谷私学・県立大学室長、土江企画幹、梶主任

4. 議題

(1) 中期目標策定のスケジュール・中期目標（案骨子）の概要について

(2) 公立大学法人島根県立大学の改革の方向性について

5. 会議の概要

(1) 会議公開・非公開の決定

島根県情報公開条例第7条第5号及び第34条の規定により、非公開が相当との事務局発言があり、委員に諮られたところ了承された。

(2) 議事

① 中期目標策定のスケジュール・中期目標（案骨子）の概要について

・ 事務局から、資料1～4によりスケジュールと中期目標（案骨子）について説明を行った。

② 公立大学法人島根県立大学の改革の方向性について

・ 大学から、資料5～6により、大学改革の方向性、浜田キャンパスの新学部構想（案）について説明を行った。

<質疑等>

- ・ キャリア教育では、インターンシップ・企業訪問を積極的に行い、学生が地域を見るような取組を進めて欲しい。
- ・ 今の時代、企業は北東アジアではなく、東南アジアを向いている。アジア全域に研究を進める方向性はよいと思う。
- ・ 浜田キャンパスは、出雲・松江キャンパスと比較して育成する人材像が曖昧に感じていたが、浜田の新学部構想は非常に分かりやすい。地域貢献日本一を目指す姿勢も素晴らしいと感じる。

- 人口減少が進む中で、若者の活用を進めていただきたい。また、専門性だけでなく、社会背景を学ぶ様な教養教育を大事にしてほしい。